



使いやすい
汎用形陶芸ろくろ

RK-2XA 型

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



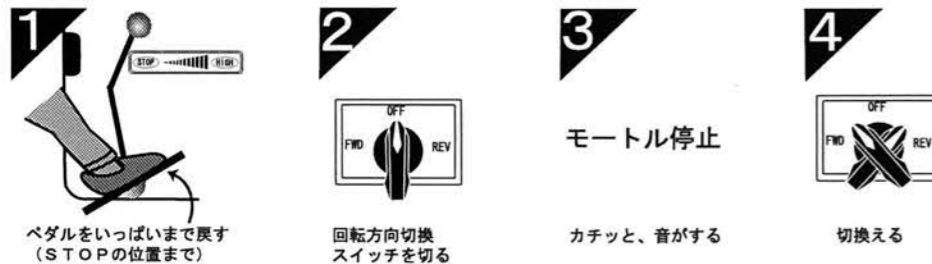
2. 停止



- ①変速ペダル(レバー)をいっぱい (STOPの位置まで)戻すと停止します。
- ②スイッチをOFFにします。

3. 回転方向の切換え

運転途中で、回転方向を変える時は、一旦ペダルをSTOPにし、スイッチをOFFにします。しばらく(約30秒)たってモートルが完全に止まってから(カチッと音がします)スイッチを切換えます。(三相のモートルの時はカチッという音はしません)



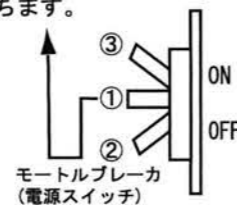
4. モートルブレーカ(電源スイッチ)が落ちた場合

負荷をかけすぎた時に、モートルを焼損から守るためモートルブレーカを装備しています。そのため過負荷運転が長く続きますと、モートルブレーカが落ちます。

運転を再開される時は、

- ①モートルブレーカが落ちた状態から
- ②一旦「OFF」側いっぱいまでノブを降ろし、
- ③「ON」に入れます。

過負荷運転にならないように、注意してください。



5. 変速ペダル(レバー)の操作とテーブルの回転

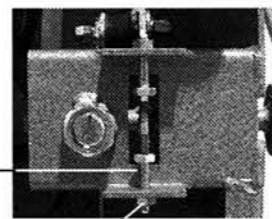
速くなり、止まる 速くなる
ペダルは独自の变速機構により軽いタッチの操作感です。

速くなり、止まる 速くなる
ペダルを踏み込むほどテーブルは速く回り、戻すと速くなり、さらに、いっぱいまで戻すと停止します。0~240(200)回転/分60Hz(50Hz)の全範囲を完全に变速させることができます。

●ゴムリング式のような摩擦や振動がありません。

6. 0回転調整

初期のなじみや長年の使用によりペダル停止位置でも、テーブルが正転または逆転する場合は、次の要領で「0回転の調整」をしてください。
※ろくろを下図のように倒してください。



調整方法

- a) やや正転する場合、ロックナットを緩め、0回転調整ボルトを時計方向1/4回転(3時の位置まで)程度回します。やや逆転する場合、0回転調整ボルトを反時計方向1/4回転(9時の位置まで)程度回します。

- b) ロックナットを緩め、ろくろを正常な状態に据付けて、0回転になっているか確認してください。

※まだ0回転が出ない場合は、a)、b)を繰り返してください。
※0回転の確認は、必ずろくろを正常な状態に据付けて行ってください。倒した状態ですと、回転数と回転方向が異なります。

※ろくろを上記のように倒した状態で作業を行ってください。

❗作業が終わったら..... 切換スイッチおよび電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

4. 保守/交換



注意

スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

掃除・点検・調整・交換の場合や長期間ご使用にならない場合は、スイッチを切るだけでなく電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やけがをするおそれがあります。



注意

水洗い厳禁

1. ろくろ自体の清掃は雑巾で拭くようにして、水洗いは避けてください。
2. ドベ受けは、ろくろからはずして水洗いしてください。



注意

長期間使用されないとき

内部部品の錆などによる支障を防ぐため、月に1度程度運転してください。(ターンテーブルを回転させてください。粘土の使用は不要です。)

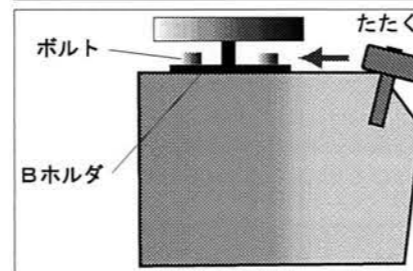
5. ベルトの調整と交換

変速ペダルのブレーキ調整

運転中に、変速ペダルが自然に動く場合、ブレーキ調整が必要です。スパナ等でロックナットをゆるめ、調整ボルトをマイナスドライバで半回転(利かなければさらに半回転)締めてください。締め終わったらロックナットでロックします。(調整ボルト破損のおそれがあるので、ロックナットはきつく締めすぎないようにしてください)



ベルト調整方法



使用中、ターンテーブルの回転力が落ちていたら、ベルトの張りを調整してください。

- ①Bホルダのボルトをゆるめます。

- ②Bホルダを矢印の方向へハンマーで軽くたたいて2~3mm程度移動させてください。

※ベルトの張り具合は両プリーの中央付近を手で押えて10~15mmたわむ程度が最適です。



ベルト交換

※ベルト破損の際は、当社最寄の支店・営業所へご連絡ください。

交換手順

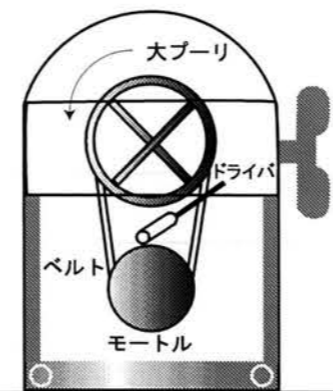
- ①スイッチを切り、変速ペダル(レバー)を最高速位置へもっていきます。

注: 最低速(0回転)の状態ですと、スイッチを切りますと、テーブルがロックされます。

- ②電源コードを抜きます。

- ③ケースを図のように倒します。

- ④大プリーとベルトの間に図のようにドライバ等をさみ手で大プリーを反時計(矢印)方向に回してベルトをはずします。



- ⑤新しいベルトの取付けは、先にモートル側の小プリーにベルトを掛け、次に大プリーを手で回しながらベルトを組み込みます。

ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら
<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



国内外営業拠点情報
<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

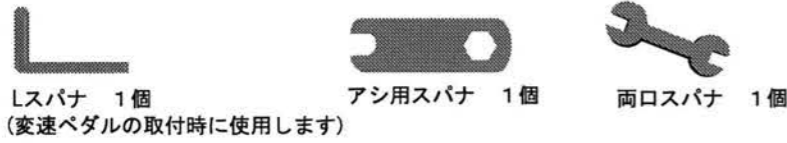
ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンゴ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました

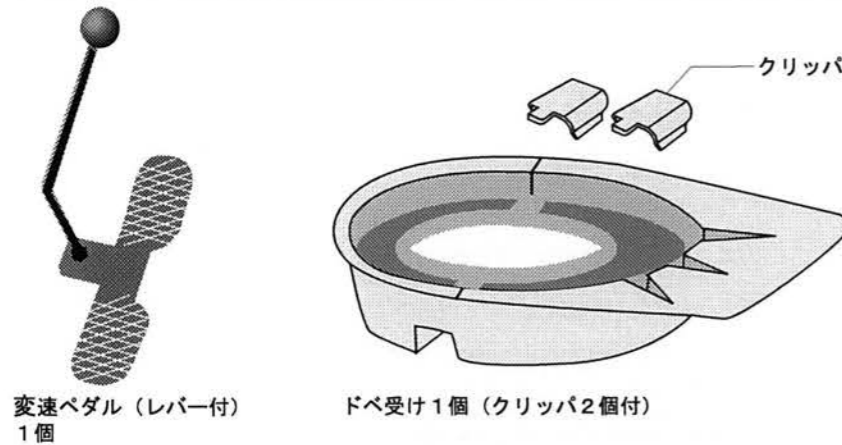
ご確認

★本体取付け前に以下のものが梱包されているか、まずご確認ください。

工具

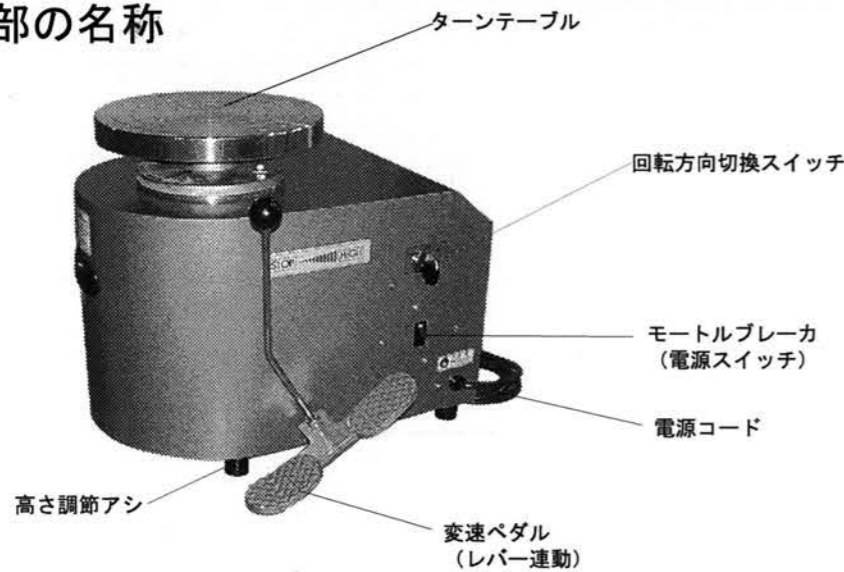


付属部品



各部の名称と仕様

各部の名称



仕様

機種	RK-2XA形
モートル	200W 単相100V 三相200V
変速機構	RX無段変速機搭載
ターンテーブル回転数	50Hz: 0~200回転/分 60Hz: 0~240回転/分 (無段変速)
ターンテーブル回転方向	スイッチ切換えで右回り、左回りとも可能
ターンテーブル	軽合金鋳物製 径300mm
外形寸法	幅525×奥行482×高515mm
質量	42kg

【安全にお使いいただくために】

据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」及び「注意」として区分してあります。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。

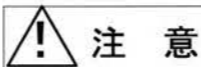
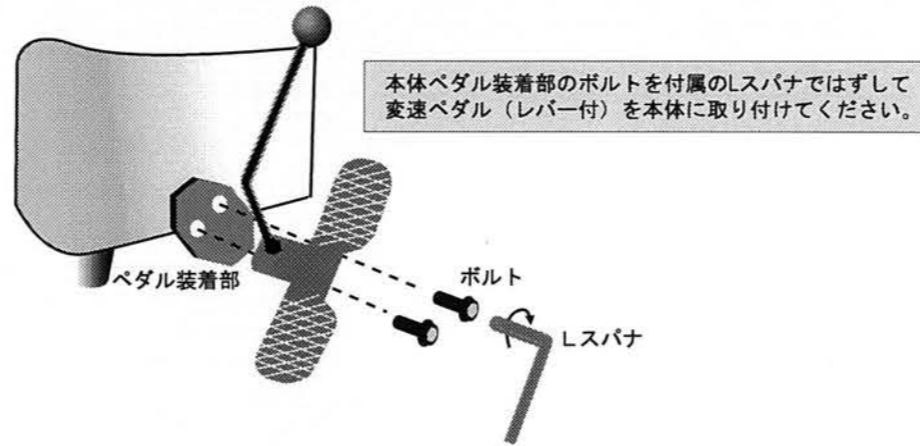


注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

1. 据付け

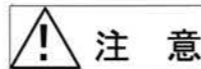
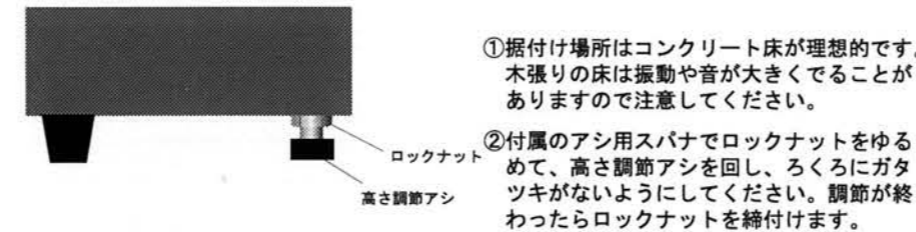
1. ペダル (レバー付) を取り付けます。



注意

2. しっかりした所に、がたつきのないように据付けます。

据付け状態が悪いと、振動や騒音が増大される恐れがあります。確実に据付けてください。



注意

3. アース線の取付けについて

感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。

※アース線、アース棒は付属されておりません。市販のものをご購入のうえ、ご使用ください。※アースの取付けは電気工事店へ依頼してください。(有料)

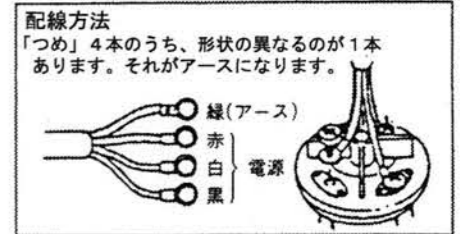
単相のアース線 (別売) の取付けは以下のように行ってください。

アース線は本体側面のアース線取り付け部に接続してください。



三相のアース線の取付け

コード先端は右図のように、アース線 (緑) を含めて4本となっています。プラグに接続される場合、「つめ」が4本と3本の2種類がありますが、なるべく4本のものを使用してください。3本つめで使用される場合はアースをとってください。

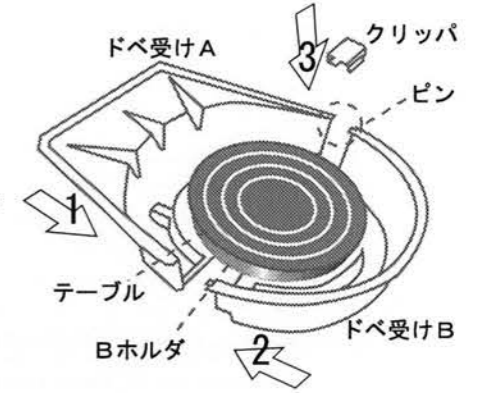


4. ドベ受けを取り付けます。

取付け手順

- ①ドベ受けAをBホルダの下部に切り込んである溝に差し込みます。
- ②ドベ受けBを同じくBホルダの溝に差し込みます。(このときにピンをドベ受けAのフチにいれてください)
- ③クリップでドベ受けAとBとを固定します。(2箇所)

※ドベ受けを取り外して水洗いする際は、クリップを紛失しないように注意してください。



警告

5. タコ足配線はしないでください。

同一コンセントで、他の電気器具の電源にも使用すると、過電流が流れ、熱をもち火災のおそれがあります。



2. 運転

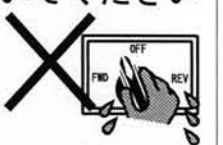
！ 初めのご使用時は、必ずならし運転を行なってください

ご購入後の最初の運転時の場合のみ、トントンまたはゴトゴトという異音が発生することがあります。その場合は、切換スイッチを入れてペダルを最高速位置にして15分間程度ならし運転をしてください。



警告 スイッチ操作は”濡れ手” でしないでください

濡れた手でスイッチ操作すると感電のおそれがあります。



1. 始動方法

- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ②モートルブレーカ(電源スイッチ)を入れます。
- ③希望回転方向に切換スイッチを入れます。

FWD—右回転 REV—左回転

※ペダルが、STOPの位置にある時は、モートルは回転していますが、テーブルは回転しません。

- ④変速ペダル (レバー) を踏み込むとテーブルが回転します。

※変速ペダルを踏み込むほどテーブルは速く回り戻すと遅くなり、さらにいっぱいに戻すと停止します。

